

# Beハウスならデザイン・品質・価格も全て希望通りに 多彩なアイデアを盛り込んだ「世界にひとつだけの家」

店舗的な発想による  
見せるインテリア

先月、土浦市荒川沖に完成した細井邸は、まるでおしゃれなカフェがカットハウスのような造り。外壁はシルバーのガルバリウム鋼板と、黒のソフトスタック吹き付け塗装を併用した、モントーンのスタイリッシュなデザインです。内装は白を基調にすっきりとした印象。LDKではセラミックタイルの床にアルミを巻いた化粧柱がアクセントを添え、天井には口径の小さいダウンライトを入れて品良くまとめました。エアコンも壁内に埋め込み、吹き出し口をアルミの格子で隠しています。

キッチン奥にある収納庫は、扉にアルミフレームと半透明の亚克力ボードを使い、夜になると中のライトが透けて、室内に柔らかな光を投げかけます。

階段の踊り場の素材は、強化ガラスを乳白色の亚克力で覆い、荷重と衝撃の両方に強く、階段下の間接照明の光を階上へ通します。玄関収納の扉は全面鏡張り、その足元にもやはりライトが仕込んであり、これらの照明効果で夜は幻想的な雰囲気になるとのこと。

トイレの赤いドアを開けると、内部は壁も天井も黒のクロス張り。居室とのギャップが楽しめます。手洗いも凝っており、天板はパンチングメタルを強化ガラスで挟んだもの。中央をくり抜いてガラスのボールをはめ込み、そこからスポンジライトが光を落とします。

## ご主人のリクエストを 豊富な提案により実現

細井邸は、Beハウスの飯田高社長が本体設計を手掛け、内部設計は同社の若手デザイナーである三田村和紀さんが担当。「ほかにない斬新な、来た人が面白いと思うってくれる家になりたい」というご主人のアイデアを具現化し、細部までセンス良く仕上げました。

「最初はいろんな会社を回り、自分の希望通りの家を作るのなんて不可能なのかなと思いましたが」と語るご主人。近頃はシンプルモダンなデザインも増えてきましたが、価格と品質の両面から満足できるものは少なく、また多くのメーカーが自由設計を謳っているものの、仕

様や設備に関してはかなり選択範囲が限られ、唖然としたそうです。

「ここへ行っても、自分のイメージがうまく伝わらなくて苦勞しました。あれこれ説明して、『そういうのもできますよ』とは言われるけれど、結局は既存のプランに近付いていってしまう。でもBeハウスではきちんと理解して多彩な提案をしてくれたので、その中から取捨選択し、自分なりの工夫も加えながら、楽しんで自由に造れました」

原価公開により、費用もかなり抑えることができました。

「本体価格で2,066万円。ローコスト住宅より若干高い程度なのに、大手メーカーに負けない高級感がありますし、デザインの良さに加え、基本がとてもしっかりしている感じ。これから家を建てる人は、Beハウスが絶対おすすめですよ」と、熱く語るご主人。ここにもまた一人、Beハウスのファンが誕生したようです。

(取材/池田充雄)



LDKやトイレも含め1階全面に温床暖房を採用。冷たさや寒さを感じられません

(左)細井邸外観。黒のガルバリウム鋼板による片流れ屋根がシャープな印象。広いルーフバルコニーも備えました  
(右上)白いタイル張りのキッチンカウンターは、奥様のお気に入り  
(右下)浴室や洗面所は2階。壁にタイルを使ったシステムバスは、INAXにオーダーしたもの



細井さんご一家。一朗さん・さち子さんご夫妻と、花子ちゃん(6歳)、すみれちゃん(3歳)

**Be**ハウス

—デザイナーとつくる家—

<http://www.behouse.jp/>

■建物面積 164.40㎡(49.63坪)  
■土地面積 133.52㎡(40.39坪)

(左)トイレにもレンガの柱の裏に間接照明を仕込み、カフェの中にあるような雰囲気  
(中)階段の手すりには基礎用の異形鉄筋を利用。欄にも同じものをランダムに張り付きました  
(右)吹き抜けの照明にはワイヤーライトを採用。これも店舗的発想の一つ

